



# 処分組合ニュース

【1面】エコセメント事業が、いよいよ動き出しました  
【2・3面】循環型社会の第一歩“エコセメント”が注目されています / 議会日より  
【4面】処分場見学会を行いました など

## 処分組合 組織団体

八王子市	昭島市	東村山市	清瀬市	西東京市
立川市	調布市	国分寺市	東久留米市	瑞穂町
武蔵野市	町田市	国立市	武蔵村山市	
三鷹市	小金井市	福生市	多摩市	
青梅市	小平市	狛江市	稲城市	
府中市	日野市	東大和市	羽村市	

発行：東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合

〔事務局 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449  
ホームページ <http://www.tokyo-shobunkumiai.com> メールアドレス [sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com](mailto:sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com)

処分組合は組織団体からの負担金で運営されています

**「処分組合」とは…?**

ニッ塚処分場（日の出町）を管理・運営している特別地方公共団体で、多摩地域25市1町の約380万人の可燃ごみ焼却灰や不燃ごみを、日の出町のみなさまの協力を得ながら埋立処分しています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

## 全国の市町村で初 エコセメント事業が、いよいよ動き出しました



契約の調印を終え、3者が力強く握手をしました。左より、東京たまエコセメント・尾花社長、処分組合・土屋管理者、太平洋セメント・鮫島社長。

処分組合では、ごみ焼却灰をセメントにリサイクルする「エコセメント事業」に取り組んでおり、平成18年4月の稼働に向けて準備を進めています。このたび施設の建設及び運営についての契約を締結しましたのでご報告します。

「多摩地域廃棄物エコセメント化施設整備運営事業に係わる施設建設工事請負契約」及び「施設運營業務委託契約」の調印式を、平成15年7月31日、武蔵野市市長公室において実施しました。処分組合より土屋正忠管理者、建設工事を請け負う太平洋セメント・荏原建設特別共同企業体から太平洋セメントの鮫島章男社長、運營業務を委託する東京たまエコセメントからは尾花博社長が出席し、契約の調印を行いました。

「多摩25市1町の燃却灰を新技術で適正に処理し、資源としてリサイクルします。エコセメント化施設の建設は公共団体としては初の取り組みで、日本の中でも最先端の施設であると自負しております。」と土屋管理者が挨拶し、3者は力強い握手を交わし

ました。このあと行った記者会見では、安全性やコストに関する質問など、熱心な質疑応答がありました。

**【契約の概要】**

**エコセメント化施設に関する建設工事請負**

[契約の相手方]  
太平洋セメント・荏原建設特別共同企業体

[契約金額]  
258億9,000万円  
(消費税を含まず)

**エコセメント化施設に関する運營業務委託**

[契約の相手方]  
東京たまエコセメント株式会社

[契約金額]  
504億7,910万円  
(消費税を含まず)

平成18年4月～38年3月の20年間

たくさんのご応募ありがとうございました。これからも、どうぞよろしくお願いします!



ニッ塚処分場内では、エコセメント化施設用地の造成工事が進んでいます。この工事でもエコセメントが使用されています。

## エコセメント事業のシンボルマークの愛称が「エコタロー」に決定しました

平成15年4月より行っておりましたエコセメント事業のシンボルマーク愛称募集には、221通ものご応募をいただきありがとうございました。厳正なる審査を行い、愛称を

「エコタロー」と決定、7月31日に命名式を行いました。命名者となった調布市の豊福幸子さんには、土屋管理者より感謝状と記念品が贈呈されました。

エコタローの「エコ」にはエコロジー、「タロー」には多摩地域のエコセメント事業を安全に責任感を持って推進していくイメージを重ね

合わせており、親しみやすい愛称となりました。



命名式ではエコタローのぬいぐるみも登場しました。

# 焼却灰を資源に再生して、ごみ減量をはかる新しい取り組み 循環型社会の第一歩 “エコセメント”が注目されています

ごみの焼却灰を再資源化する「エコセメント事業」は、ごみ問題への新しい取り組みとして、全国の自治体や海外からも注目を集めています。リサイクル先進地域としてリーダーシップをとる多摩地域25市1町が、日の出町の協力を得て、「エコセメント事業」にチャレンジします。

## エコセメント事業とは

### ごみを燃やした焼却灰をリサイクルして活用します

「エコセメント」は、ごみを燃やした後に残る焼却灰を主な原料とした、新しいタイプのセメントです。エコロジーの「エコ」とセメントから名づけられました。日本工業規格(JIS)に定められ、土木・建築工事やコンクリート製品など、普通セメントと同じような用途に利用できます。

処分組合では、今まで埋立処分していた焼却灰をセメントにリサイクルして利用する「エコセメント事業」に取り組んでいます。

この事業を進めることで、埋立処分するごみの量を削減するとともに、資源の再生利用を図り、循環型社会の第一歩をスタートさせます。

土木・建築資材などとして利用

## エコセメント

## 施設の概要

### 1日300トンの焼却灰を原料としてセメントを生産する予定です

この施設では、年間310日の稼働を予定しています。焼却灰の処理量は、1日平均300トンで10トントラック30台分、またエコセメントの生産量は、1日平均430トンとなります。



清掃工場から、二ツ塚処分場に運ばれてくる焼却灰。現在は埋立処分をしています。



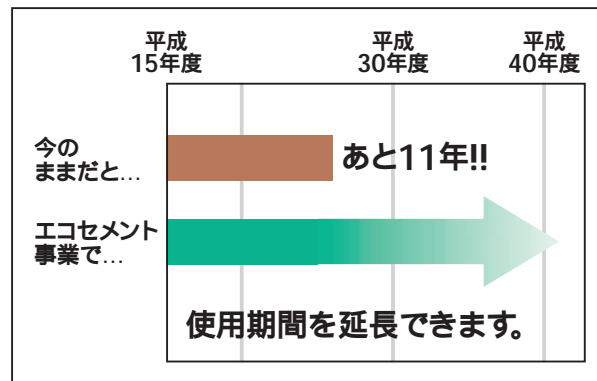
二ツ塚廃棄物広域処分場

## 目的

### ごみを減量することで、二ツ塚処分場の使用期間を延長することができます

多摩地域では、焼却灰と不燃ごみのほとんどを二ツ塚処分場に埋め立てていますが、埋立容量には限りがあります。エコセメント事業を実施すると、埋立処分するのは不燃ごみだけになり、埋立開始(平成10年)から16年間の予定

である二ツ塚処分場の使用期間を、30年間以上にまで延ばすことができます。また、すでに埋め立てられた焼却灰を掘り起こして、エコセメントとして再生することも可能になります。



エコセメント化施設のイメージ図

## 安全性

### 安全の確保や環境対策に万全の配慮をしています

エコセメントの製造過程では、原料(焼却灰)を1,350以上の高温で処理するため、ダイオキシン類が分解されてしまいます。さらに排ガスを急速に冷却して再合成も抑制するので、ダイオキシン類は製品中にも排ガス中にもほとんど残存しません。重金属については、高温処理により排ガス中に移行したものを処理設備で回収し、人工鉱石としてリサイクルします。このため大気にはほとんど放出されません。建設工事でも環境に配慮し、排ガス対策装置付きや騒音の少ない建設機械などを使用しています。造成工事や建設工事から発生する残土は二ツ塚処分場で覆土材(埋立の時、ごみにかぶせる土)として利用するなど、有効利用を図っていきます。

## 事業方式

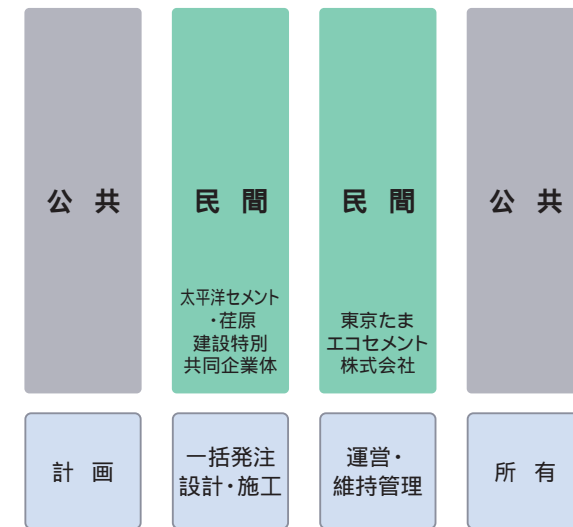
### 民間事業者のノウハウを生かして効率的な施設整備と運営を行います

エコセメント化施設を整備し、製造・販売していくためには専門的な知識・技術が必要となし、コストにも十分な配慮が必要です。

処分組合では、民間事業者を活用し、そのノウハウを生かす「PF(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)」の考え方を採り入れ、エコセメント化施設の設計・建設・運営、さらにエコセメントの販売を一括して民間事業者に

ゆだねる手法をとります。建設工事は太平洋セメント・荏原建設特別共同企業体が行います。施設運転・維持管理・エコセメント販売等の運営業務については20年間(平成18年4月~38年3月)にわたって東京たまエコセメント株式会社に、委託します。

### 公共が総括的な管理・監督

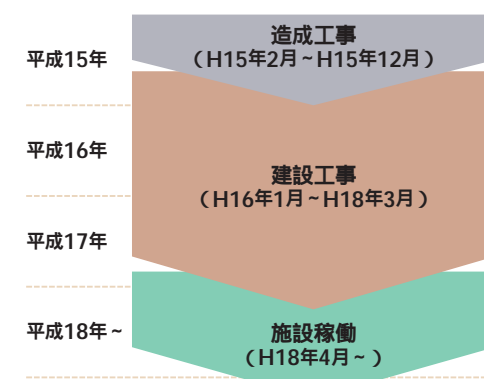


## 今後の予定

### 平成16年1月よりプラント建設を開始 平成18年4月より稼働を予定しています

現在、施設用地の造成工事を進めています。平成16年1月からは、いよいよエコセメント化施設の建設工事を開始する予定です。施設の稼働は、平成18年4月からスタートする計画で準備を進めています。

### 事業スケジュール



## エコセメント Q&A

エコセメントに関する疑問にお答えします。

- Q** エコセメントは何に使われるのですか?  
**A** エコセメントは、普通セメントと同等の品質を持っているので、土木・建築工事やコンクリート製品等に、広く使われています。
- Q** 製造したセメントは売れるのですか?  
**A** エコセメントの品質は、日本工業規格(JIS)に規定されており、土木建築資材として需要があります。また、各自治体でも積極的にエコセメントを使用するように働きかけていきます。
- Q** エコセメント事業が始まればもうごみを減量する必要はないのでは?  
**A** いいえ、埋め立てるごみが発生する限り、二ツ塚処分場はいつか満杯になってしまいます。限られた処分場を一日でも長く使用するため、一層のごみ減量が必要です。

## 組合議会だより

処分組合議会の議員は、多摩地域25市1町の議会議員の中から選出されています。

処分組合議会の、平成15年第1回臨時会が7月30日に開かれ、以下の案件について審議しました。

### 議案と審議結果

件名	議決結果
平成14年度東京都多摩地域廃棄物広域処分組合事故繰越し繰越計算書について	了承
多摩地域廃棄物エコセメント化施設整備運営事業に関する建設工事請負契約の締結について	原案可決
収入役の選任につき同意を求めることについて	同意
監査委員(議会選出)の選任につき同意を求めることについて	同意

## 新しい議長・副議長 就任の挨拶

議長 江口 和雄(日野市)

はじめに、日の出町の皆様には日頃から処分組合にご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

多摩地域では、分別の徹底やごみ収集の有料化など、ごみ減量に対する取り組みを強化しているところです。処分場の運営はこうした減量の取り組みを前提にしながら、今後も安全管理や環境保全に細心の注意を払っていかねばなりません。

エコセメント事業が始動し、処分組合が重要な段階を迎えている中、組合議会もその使命を全うすべく、全力を尽くす所存です。



副議長 菊池 富美男(多摩市)

日の出町並びに構成団体のみならず、日頃、処分組合に対し、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、地元のみならずの多大なるご理解のもと、「エコセメント事業」が実施の運びとなりましたことは、誠に慶ぶべきことと存じます。

今後は、この事業を確実に成し遂げるとともに、「ごみの埋立処分に頼らない社会」を目指していかねばなりません。

このためにも、ぜひ強力なごみの減量、リサイクルの推進に取り組むことをお願いし、就任の挨拶とさせていただきます。

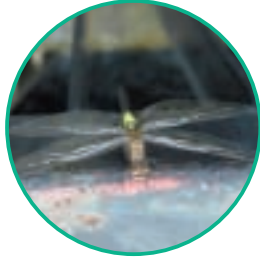


# 谷戸沢の四季 処分場の「いま」

\*谷戸沢処分場とは.....谷戸沢処分場は多摩地域の廃棄物を昭和59年から14年間にわたり埋立処分した最終処分場です。現在も適切な維持管理を続けています。

## トンボ

トンボの幼虫は水の中に生息し、成虫になると陸に上がります。水辺や草原のある谷戸沢はトンボが生息するのに適した環境であるといえます。下の写真はコシアキトンボ。



谷戸沢の広大な草原に、マツヨイグサがたくさん咲いています。

## トンボをはじめ、たくさんの昆虫が確認されています

埋立終了後、谷戸沢処分場の埋立区域は広大な草原となりました。処分場内や周辺では、写真に見られるトンボのほか、バッタやチョウ、甲虫などたくさんの種類の昆虫が確認されています。

## いも掘り農園で 秋の味覚を 楽しみませんか？

日の出町のいも掘り農園では、甘くておいしいおいも(紅東)を収穫することができます。

実施時期：10月1日(水)～11月9日(日)

料金：1株当たり130円(おいも2個くらい)

団体予約の方には、いも焼き機の貸出も可能です。お気軽にご相談を。

## 第15回 「日の出町産業まつり」開催

地元商店をはじめ農産物や特産品の直売など約100店舗の出店販売、一般参加者によるステージショー、ふれあいミニ動物園、乗馬体験コーナー等、楽しい企画を準備し、皆様のご来場をお待ちしています。

開催日：11月1日(土) 2日(日)

場所：日の出町町民グラウンド

[上記に関する問い合わせ先] 日の出町役場 経済課商工観光係 TEL.042-597-0511(内線241)

## 日の出だより



実りの秋、おいもと思い出をお土産に。



「町民と産業のふれあい」をテーマに開催。

## 三多摩は一つなり交流事業

\*「三多摩は一つなり交流事業」...最終処分場を受け入れていただいている日の出町の方々や多摩地域25市1町の住民とが、文化・スポーツなどの事業を通じて交流し、相互の理解を深めていくことを目的とした事業。処分組合では、この事業の実施を支援しています。

### 2003年夏の実施イベントの報告

8月22日

### リサイクル教室と 府中郷土の森 プラネタリウム見学

日の出町の親子39名が府中市リサイクルセンターを訪れ、廃品を利用した工作を体験。午後はプラネタリウムを見学しました。



府中市リサイクルセンターで工作をしました。

8月28日

### 町田市と日の出町、 楽しいそば打ち体験

町田市と日の出町のみなさん39名が参加。そば打ちの体験とともに処分場を見学し、楽しく学んだ一日となりました。



町田市と日の出町がそば打ち体験で交流。

このほか、7月20日は、楽焼体験と調布市花火大会

7月25日は、小平市・日の出町 そば打ち体験と処分場見学

8月23日は、アニメーション美術館見学と三鷹阿波踊り

が実施され、多くの皆さんに参加していただきました。

## 「処分場見学会」を行いました

ごみ処理の現場を実際に見ていただく処分場見学会を、8月8日及び18日に実施しました。午前中は多摩地域の清掃工場で、家庭などから出たごみが焼却処理される様子を見学。午後は二ツ塚処分場内、埋立処分の現場を見ました。

参加者からは「エコセメントで二ツ塚処分場の使用期間が延びても、その先が心配。もっとごみの減量に努めなければ」「見学した子どもたちがごみの将来を考えて、いろんな人

に伝えていってほしい」などの感想をいただきました。



二ツ塚処分場の埋立現場で、職員の説明に耳を傾ける見学者の皆さん。

## 二ツ塚処分場、2期エリアへの埋立開始



2期エリアへの埋立が始まりました。

二ツ塚処分場では、全体を3期に分けて埋立を行っています。2期エリアは本年3月に工事が完成しましたが、去る9月9日より、焼却灰の埋立が始まりました。

二ツ塚処分場へは平成10年1月の埋立開始から本年8月末までの間に、既に全体埋立容量の約1/3が埋め立てられています。

## 処分組合の動き

7月 3日(木) 第27回谷戸沢処分場環境影響評価委員会

7月 4日(金) 平成15年第3回正・副管理者会議

7月 9日(水) 処分組合議会谷戸沢・二ツ塚処分場見学会

7月18日(金) 平成15年第3回理事会

平成15年第1回エコセメント推進委員会

7月30日(水) 平成15年第1回処分組合議会臨時会

7月31日(木) エコセメント化施設の建設工事請負及び運営業務委託契約締結

エコセメント事業シンボルマーク愛称決定

8月 1日(金) ~8日(金) 二ツ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査実施

8月29日(金) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会

9月 2日(火) 第22自治会二ツ塚処分場対策委員会

9月17日(水) 谷戸沢・二ツ塚処分場水質等調査結果公表(平成15年度第1四半期分)

ホームページをご覧ください

<http://www.tokyo-shobunkumiai.com>

処分組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。クイズに挑戦しながら「ごみ処理」について知ることができるコーナーも好評です。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先

TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449

処分組合ニュースの内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。  
〒183-0052 東京都府中市新町2-7-1 東京自治会館内  
東京都多摩地域廃棄物広域処分組合「処分組合ニュース係」  
[メールアドレス] [sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com](mailto:sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com)